

## 1. 圏域の概要

### (1) 水産業の概要

#### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

頓別圏域は浜頓別町の1町で構成され、漁業協同組合は1漁協（頓別漁業協同組合）がある。

#### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域の主要漁業ははたて桁びき網漁業、さけ定置網漁業、けがにかご漁業である。令和元年における漁獲量はホタテガイが12,547トン、サケ・マス類が828トン、ケガニが124トンとなっている。

主要魚種であるホタテガイは稚貝の育成・放流を行うことにより、つくり育てる漁業を実施している。また、サケ・マス類は北海道と民間団体との協力体制のもとで人工ふ化放流が行われている。

#### ③ 水産物の流通・加工の状況

流通拠点港である頓別漁港で水揚げされたホタテガイは、圏域内の加工場で干し貝柱や玉冷に加工され、道内はもとより中国・アメリカ方面へ流通している。また、当圏域内の一部海域ではホタテガイの対EU輸出生産海域の指定を受けており、EU方面への輸出にも取り組んでいる。

その他の魚種については各漁港で水揚げされた後、流通拠点漁港である頓別漁港へ集約され圏域内外に出荷される。

#### ④ 養殖業の状況

当圏域のホタテガイ養殖業は、地撒き漁場を4区画造成し漁場ごとに4年に1度小型底びき網漁業を行う4輪採制と呼ばれる特徴ある操業形態を採用している。種苗については、圏域外から購入した稚貝を使用している。

#### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

頓別漁業協同組合の組合員数は150人である。当圏域の組合員数は減少傾向では

あるが、後継者育成に力をいれており今後とも新規着業者の参入が見込まれる。

⑥ 水産業の発展のための取組

EU へのホタテガイの輸出を促進するため、水揚げや搬送等の際に「北海道対EU輸出ホタテガイ管理要領（宗谷南部海域）」を遵守した体制となるよう、民間加工場を交えた研修会を開催し、安全衛生管理の検証・強化を行っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

漂砂や河川からの砂による航路及び泊地の埋塞対策として、防砂堤の整備や継続した維持浚渫が必要である。

漁港施設の老朽化が進行しており、機能保全計画に基づいた補修が必要である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

当圏域内の各漁港において、現在のところ、統合や廃止、再編等の予定はない。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由；第2種頓別漁港に水産物を集約する産地市場を有している。
② 圏域範囲	浜頓別町	設定理由；流通拠点港への水産物の集約が及ぶ範囲である浜頓別町の範囲を設定した。
③ 流通拠点漁港	第2種頓別漁港	設定理由；産地市場を有し、圏域内の水産物が集約され、当該漁港から消費地へ水産物が輸送されている。 衛生管理のための屋根付き岸壁等が整備されており、高度衛生管理（L2以上）が実施されている。 災害時の漁港利用者の避難対策については今後検討していく予定である。
④ 生産拠点漁港	第1種斜内漁港	設定理由；さけ定置網漁業を主体としており、頓別圏域におけるサケの生産基地として中核的役割を果たしている。

⑤ 輸出拠点漁港	第2種頓別漁港	設定理由；流通拠点漁港であり、ホタテガイの生産量が多く、輸出を行っている。
----------	---------	---------------------------------------

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	49,827	圏域の登録漁船隻数(隻)	152
圏域の総漁港数	2	圏域内での輸出取扱量(トン)	2,860
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数			

⑥養殖生産拠点地域について

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	頓別
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	ほたてがい
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	12,547
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	1,941

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

屋根付き岸壁が整備されたことで、安全で信頼性の高い水産物の国内外への供給が可能となった。今後は、総合的な衛生管理体制を確立させるため、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためソフト施策を講じて行く。

②養殖生産拠点の形成

当圏域内の各漁港において、現在養殖生産拠点の形成に係る整備予定はないが今後の状況による。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域は、地蒔きによるホタテガイの一大産地となっており、海外需要の増大、単価の上昇等が見込まれる魚種であり、地域経済を支えている。しかし、近年の気候変動に伴い爆弾低気圧や台風が頻発し、浅い水深帯のホタテガイが斃死するなどして生産が不安定となっている。

また、当圏域は日本海北部海域で産卵・ふ化したマガレイ等カレイ類が海流

により回遊着定し、稚魚期から未成魚・成魚になるまで成長する場として利用されていることがわかっているが、近年それらカレイ類の漁獲量は減少傾向にある。

以上のことから、漁場の再編を行い高波浪等の影響を受けにくい海域へホタテガイ漁場の拡大を行うほか、沖合におけるマガレイの幼稚魚育成場を整備する。

②災害リスクへの対応力強化

地震などの大規模な自然災害に備えた、耐震岸壁が整備されている。

漂砂による漁港の埋塞を防ぐため、防砂堤及びサンドポケットを整備する。

老朽化が進み更新需要が増大する漁港施設について、持続可能なインフラ管理の推進のため、予防保全型の老朽化対策を行う。

事業継続計画（BCP）を策定しており、被災後の地域水産業の早期再開を推進する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

当圏域内の各漁港において、現在「海業」による漁村の活性化に係る整備予定はないが、今後の状況による。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当圏域内の各漁港において、現在女性など多様な担い手の活躍に係る整備予定はないが、今後の状況による。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
オホーツク海	環境変化、資源管理	水産環境整備事業

- ・過去に設置した魚礁の移設を行うことにより、移設元である高波浪等の影響を受けにくい海域にホタテガイ漁場の拡大を行い、併せて移設先ではマガレイの幼稚魚育成場として魚礁を活用し、漁場の再編を行う。

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
頓別	安全・安心	農山漁村地域整備	頓別	2	○
宗谷	予防保全	機能保全	頓別	2	○
宗谷	予防保全	機能保全	斜内	1	

- ・漂砂対策のために防砂堤及びサンドポケットを整備する。
- ・老朽化が進んだ漁港施設について、機能保全計画に基づいた補修工事を行うことで、漁業活動の安全性を確保する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

4. 環境への配慮事項

工事の実施に当たっては、環境に悪影響を与えないよう施工時期等に配慮する。

5. 水産物流通圏域図

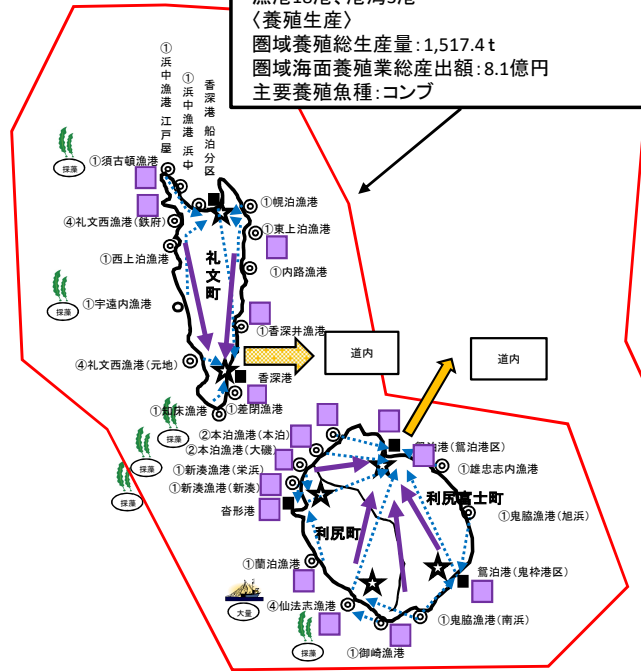
別紙のとおり

# 北海道 宗谷総合振興局水産物流通圏域図

## 利尻・礼文圏域

### 流通拠点(外海離島型)

圏域総陸揚量:16,570.5 t  
 圏域総陸揚金額:55億円  
 漁港18港、港湾3港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:1,517.4 t  
 圏域海面養殖業総産出額:8.1億円  
 主要養殖魚種:コンブ



## 宗谷北部圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:東浦漁港(第4種)  
 圏域総陸揚量:53,742.8 t  
 圏域総陸揚金額:151億円  
 漁港8港、港湾2港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:47,149.5 t  
 圏域海面養殖業総産出額:95億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 猿払圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:浜鬼志別漁港(第2種)、知来別漁港(第2種)  
 圏域総陸揚量:49,827.9 t  
 圏域総陸揚金額:82億円  
 漁港3港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:48,370.8 t  
 圏域海面養殖業総産出額:70億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 頓別圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:頓別漁港  
 圏域総陸揚量:13,643.1 t  
 圏域総陸揚金額:31億円  
 漁港2港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:12,547.6 t  
 圏域海面養殖業総産出額:19億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 枝幸圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:オホーツク枝幸漁港(第2種)、オホーツク枝幸北漁港  
 圏域総陸揚量:53,340.2 t  
 圏域総陸揚金額:110億円  
 漁港2港、港湾1港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:37,708.0 t  
 圏域海面養殖業総産出額:67億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

● : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

○ : 一般漁港

■ : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)

☆ : 産地市場

漁業: 主な魚種

(主な漁業種が、(大船) (巻き網・底引き網等、) (小舟) (イサナ) (イサナ) (イサナ) の場合は示す)

← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)

← : 水産物集約 (陸送)

◻ ← : 加工場・消費地への出荷 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等をしてできる限り示す。)

← : 養殖に係る水産物の流れ

◻ : 養殖漁場

50t 未満	→
50~100 t	→
100~500 t	→
500~1000 t	→
1000~5000 t	→
5000t 以上	→

